

令和2年1月21日（火）に、雫石町再生可能エネルギー事業の適正な促進に関する条例第10条第4項に基づく再生可能エネルギー事業に係る説明会開催報告書の提出がありましたので、同条第5項の規定により、これを公表します。

記

(1) 説明会開催日時	令和2年1月20日（月） 午後1時4分～午後2時35分
(2) 事業者	岩手県温泉利用組合 代表組合長 岩岡 重樹
(3) 設置場所	雫石町長山北葛根田1番 東葛根田国有林776林班 イ林小班外 「滝峡荘」敷地内
(4) 設置しようとする再生可能エネルギーの種類	地熱バイナリー発電設備
(5) 予定規模	発電出力 650kw
(6) 参加者	住民、発電事業者、工事施工業者、事業関係者、学識経験者、環境省、林野庁、岩手県、町環境対策課等
(7) 説明内容	事業者である岩手県温泉利用組合より、滝ノ上温泉「滝峡荘」の改築並びに小規模バイナリー発電設備の設置に係る事業計画について、配布資料及びパワーポイントにより、滝ノ上温泉郷の現状と「滝峡荘」の改築計画、併設される自家発電設備の設置目的、教育的意義、景観上の配慮、工程表等の説明が行われた。
(8) 参加者からの主な意見と対応方針公表内容	①バイナリー発電に用いる温泉井（生産井）から湧出させた温泉水は、地下に戻すのか。 回答：お見込みのとおり。葛根田川には放流しない。 ②地下何mから温泉水を汲むのか。また、温泉水にはどのくらい有害物質が含まれるのか。 回答：学識経験者から意見を参考にして、地下800mとなる予定である。また、ご指摘のとおり高温の地熱発電用温泉水には、有害物質も含まれるので、関係官公署から許可を得て還

元井を新たに掘削しており、発電後に地下へ戻す計画としているため、影響は出ない。

③日帰り入浴がメインなのか。

回答：当面はその予定であるが、環境学習や山岳トレッキングなどを通じて、宿泊客数も伸ばしていきたいと考えている。

④景観への配慮については、どうなのか。

回答：配管については、極力膝の高さまでの形での設計を進めている。また、設備の色についても環境省の指導に従って、アースカラーを基調とする考えである。

※全ての質問や意見に誠実に回答し、質問者等の理解を得た。また、本事業に対する懸念や反対意見は、とくに無かった。